



IXIL 縦すべり出し窓 カムラッチタイプ 小開口アーム 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

▲注意

●小開口アーム取付けねじ・小開口アーム受け取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }、カムラッチ受け取付けねじは $1.7 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $17 \pm 3 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すこととなります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 取外した障子固定用のねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。
- 取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを開閉を繰り返して確認してください。
- 取付けねじの締付けは手回しドライバーを使用し、電動工具を使用しないでください。
- 必ず指定の取付けねじと取付け金具を使用してください。

■使用工具一覧

ドライバー(+)	電動ドライバー	仮止め用テープ

■部品・ねじ一覧表

記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
姿図								
	小開口アーム	小開口アーム取付けねじ なべドリルねじ M4×8+ワッシャ	操作説明ラベル	小開口アーム受け	小開口アーム受け取付けねじ トラス小ねじM4×6	枠側ブラケット	アームスペーサー	小開口アーム受け取付けねじ トラス小ねじM4×8 (アームスペーサー調整用)
商品コード	Z-01 L/R BWLL	1	2	1	1	2	1	2

■取付け順序

1 障子の取外し

▲注意

●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すこととなります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

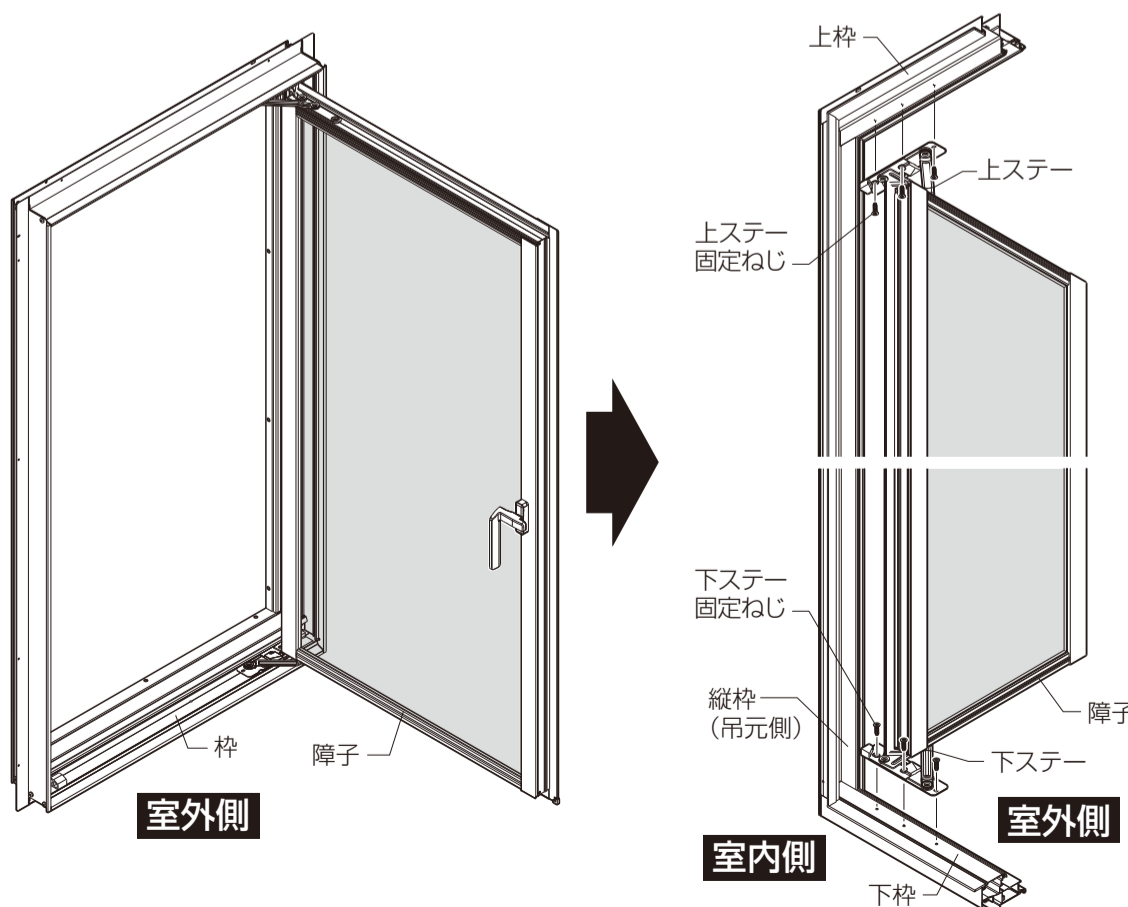
※障子吊込み前の取付けの場合は、この作業は不要です。

●障子を開きステー固定ねじを外し、障子を枠から取外します。

お願い

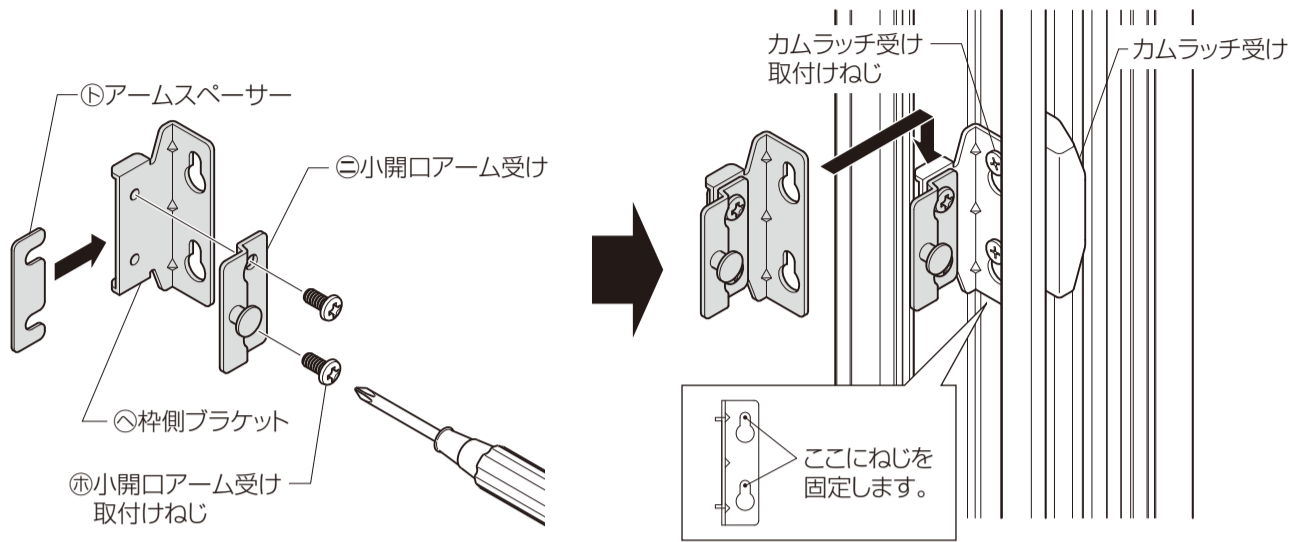
※すべてのねじを取外し終わるまで障子を支えておいてください。

※取外した障子固定用の“ねじ”は再度使用しますので、紛失しないようにしてください。



2 小開口アーム受けの取付け

- ① ㊦ 枠側ブラケットに ㊧ アームスペーサー、㊨ 小開口アーム受けの順で重ね、㊩ 小開口アーム受け取付けねじで取付けてください。
- ② カムラッチ受けの取付けねじをゆるめ(枠側ブラケットの板厚分 1.5mm程度)、㊦ 枠側ブラケットを上からねじに引っかけます。
※ねじをゆるめすぎるとねじの落下、紛失につながります。
- ③ ねじの頭で㊦ 枠側ブラケットを挟み込んだことを確認し、ねじを本締めしてください。



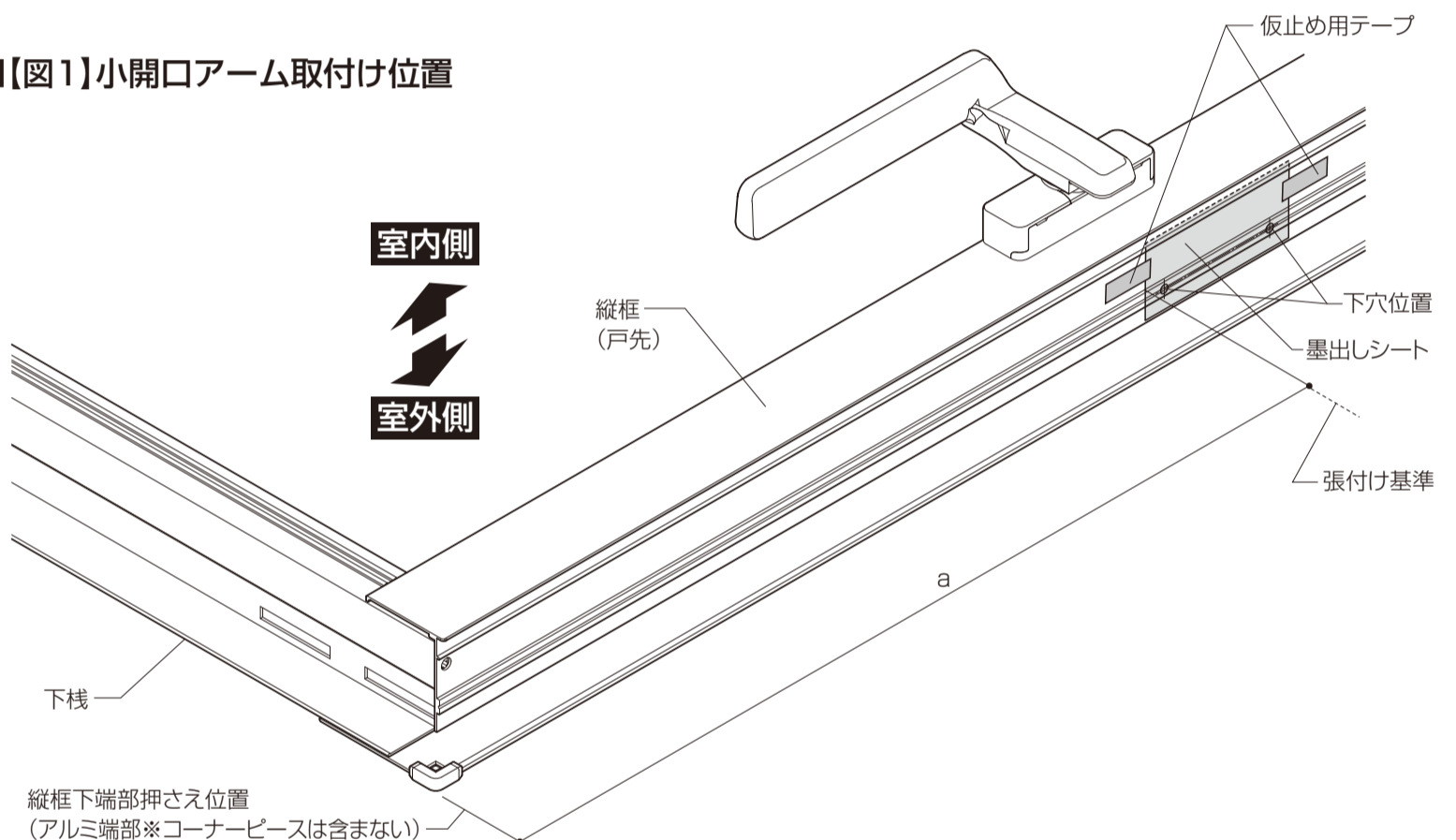
▲ 注意

●カムラッチ受け取付けねじは $1.7 \pm 0.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $17 \pm 3 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。小開口アーム受け取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。

3 小開口アームの取付け

- ① 本取付け説明書の最後に墨出しシートがあります。切り取って【図1】の位置で仮止めテープで仮止めしてください。サイズにより位置が異なります。【表1】を参照ください。
- ② 下穴位置を墨出した後、㊪ 小開口アーム取付けねじの先端で縦框に目印をつけてください。

■【図1】小開口アーム取付け位置



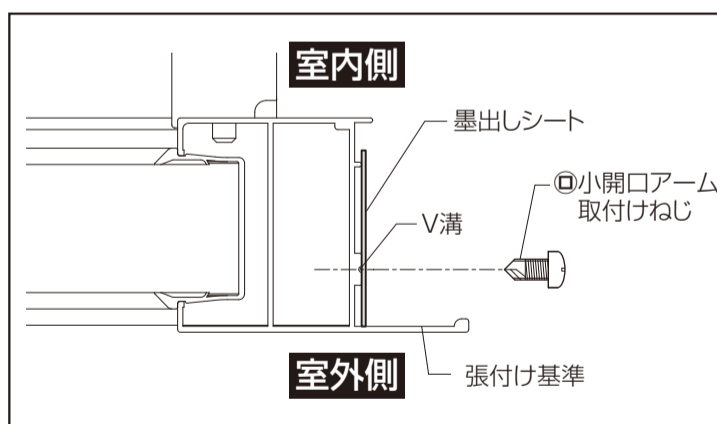
■【表1】

<規格品の場合>

呼称	Hサイズ	a
07	770	400
09	970	500
11	1170	600
13	1370	700
15	1570	800
18	1870	950
20	2070	1050
22	2270	1150

<特注品の場合>

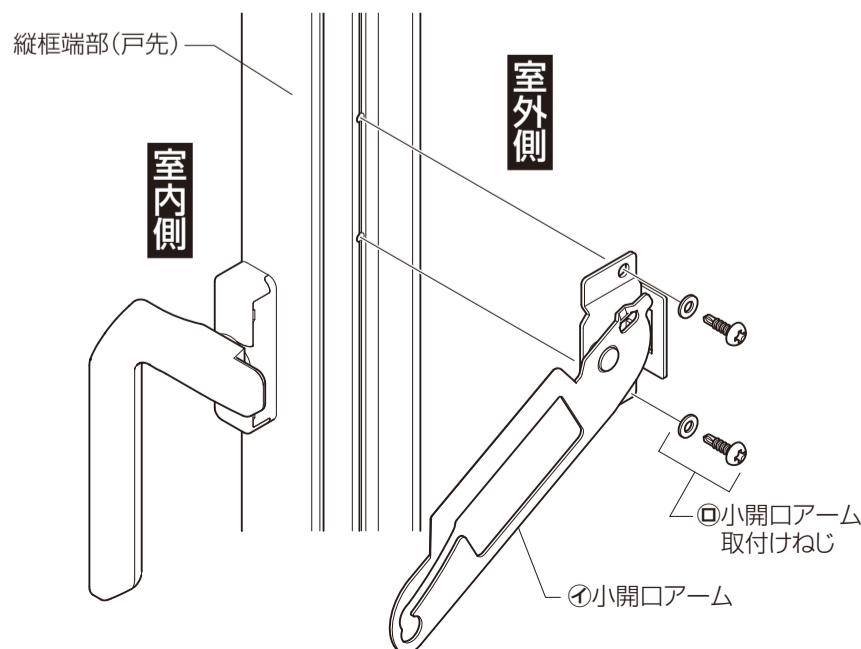
a
H/2+15



お願い

※電動ドリルにて、ねじの下穴加工をしないでください。貫通しガラスの破損につながる場合があります。
※㊪小開口アーム取付けねじ先端で目印を付ける際、深く印をつけないでください。小開口アーム取付け時にねじ止めができなくなります。

- ③ ㊫ 小開口アームを、㊪ 小開口アーム取付けねじで取付けてください。



▲ 注意

●小開口アーム取付けねじは $2.0 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $20 \pm 2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

4 障子の取付け

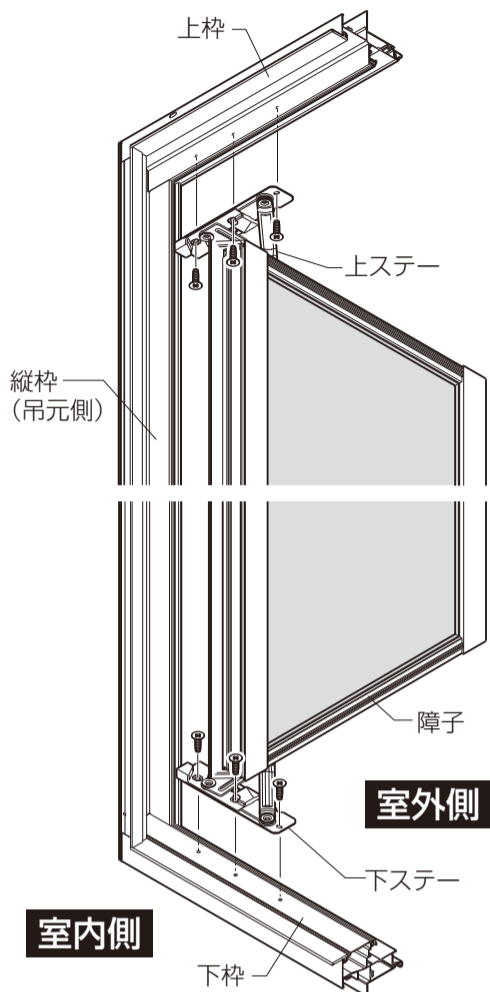
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後にしてください。

●1で取外した障子を再度取付けます。

①障子に付いている上・下ステーを引出し、広げます。

②下ステーを下枠にのせて、障子の上部を立て起こします。

③上ステーのねじを最初に取り付けた後に、下ステーのねじを取付けます。

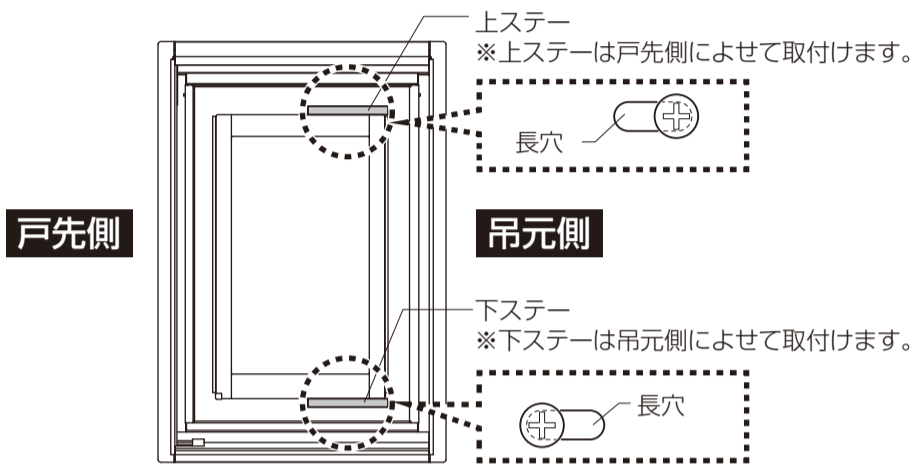


お願い
※すべてのねじを取付け終わるまで障子を支えておいてください。

■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。

障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。

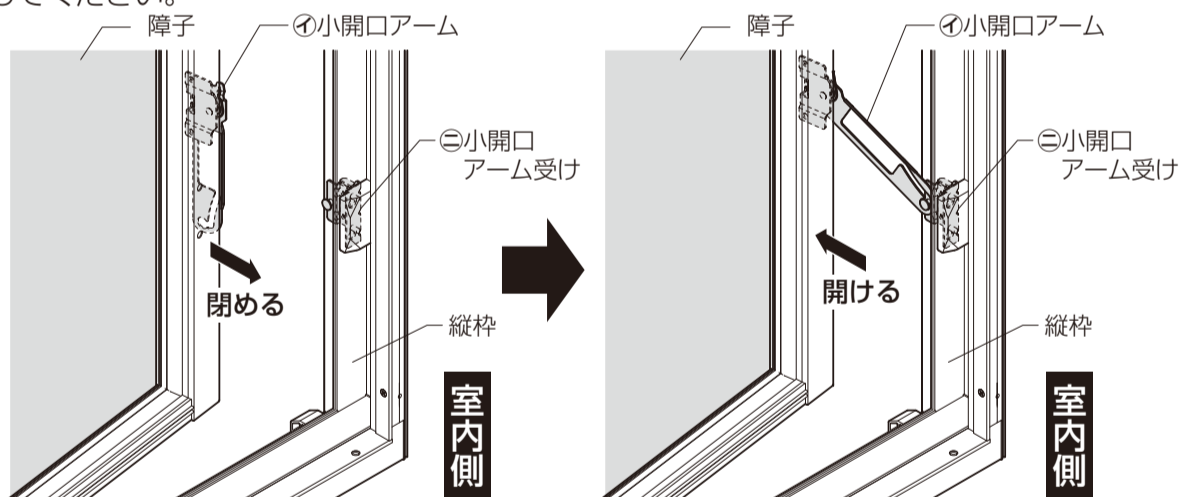


5 障子の開閉確認

お願い
※取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを開閉を繰り返して確認してください。

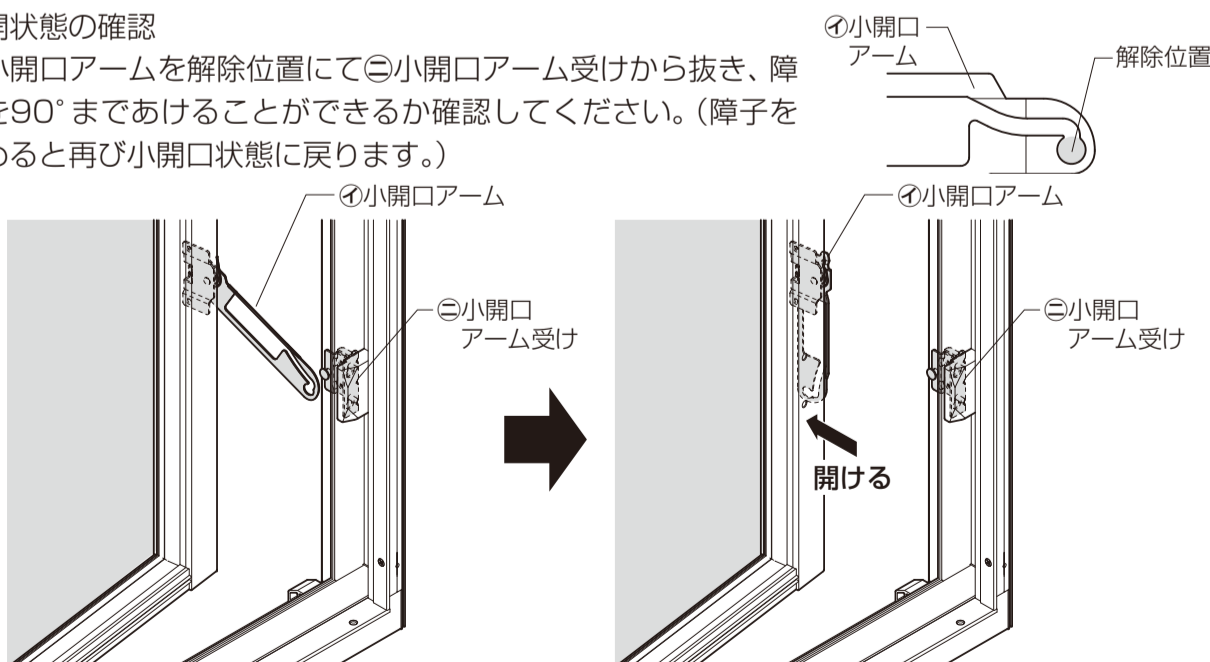
①小開口状態の確認

●障子を閉めると自動的に小開口状態になります。再度障子をあけて、小開口状態になっているか確認してください。



②全開状態の確認

●①小開口アームを解除位置にて②小開口アーム受けから抜き、障子を90°まであけることができるか確認してください。(障子を閉めると再び小開口状態に戻ります。)

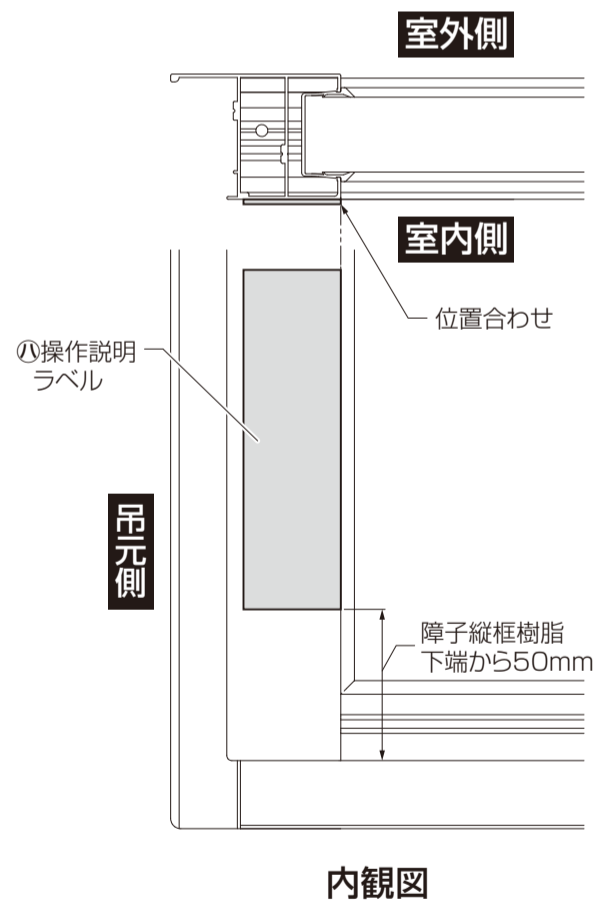


※障子が閉まらない場合、ハンドルの操作が重い場合、小開口状態にならない場合は、障子の建付け調整、アームスペーサーによる調整を行ってください。

※小開口アームが小開口アーム受けに当たり逆に回転してしまう場合は、手で戻してから調整を行ってください。

6 操作説明ラベルの張付け

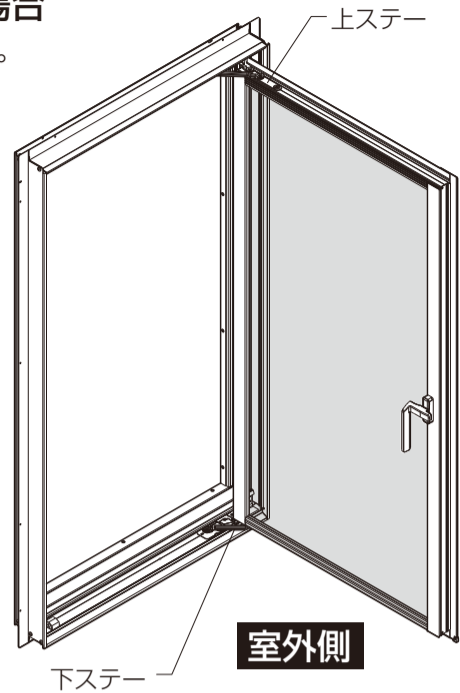
●①操作説明ラベルを障子吊元側縦枠下部の室内側に張付けます。



障子の建付け調整

障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。



●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

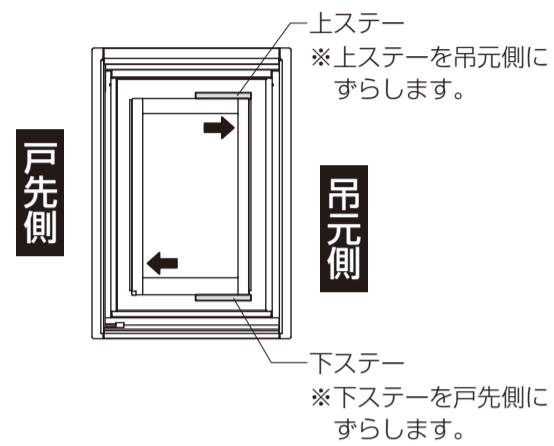


図1

アームスペーサーの調整

※アームスペーサーは、通常1枚の設定です。

※小開口アームが小開口アーム受けに当たり障子が閉まらない場合は、アームスペーサーを抜いてください。

※小開口状態にならない(小開口アームがかからない)場合は、アームスペーサー調整用1枚を追加してください。

①小開口アーム受け取付けねじをゆるめます。

(上下半回転)

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・アームスペーサーの落下、紛失につながります。

【抜くとき】

②側面からアームスペーサーを引き抜きます。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でアームスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。

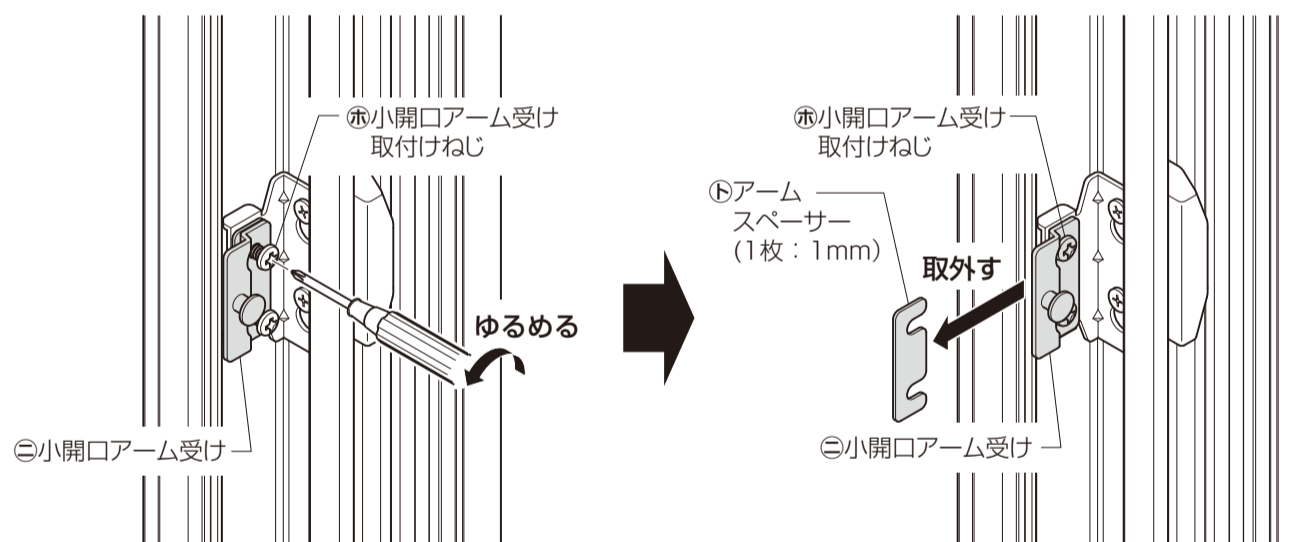
※アームスペーサーを1枚取外すと1mm、小開口アーム受けが縦枠側に寄ります。

【追加するとき】

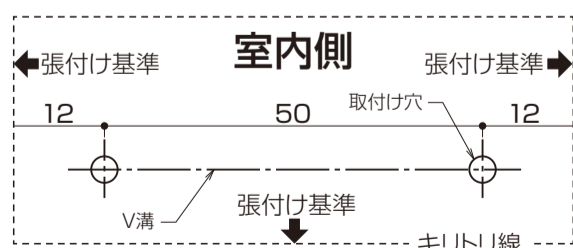
③Ⓢ小開口アーム受け取付けねじを外してアームスペーサーを差込んでください。

※アームスペーサーを1枚追加すると1mm、小開口アーム受けが縦枠側に寄ります。

④同梱のⓈ小開口アーム受け取付けねじ(アームスペーサー調整用)を使用して固定してください。



◆墨出しシート



お願い

※電動ドリルにて、ねじの穴あけはしないでください。ガラスの破損につながる場合があります。

